

# 一般社団法人 日本ホテル・レストランサービス技能協会 令和2年度定時総会 議事録

1. 会議の種類 一般社団法人 日本ホテル・レストランサービス技能協会 令和2年度定時総会

2. 招集年月日 令和2年9月29日(火) 16:00

3. 開催場所 東京ドームホテル 東京都文京区後楽1-3-61

4. 総議決件数 2,592個

この議決権を有する会員数の内訳

法人正会員279社(1,395個)、個人正会員1,197名(1,197個)

令和2年7月1日現在

5. 出席会員数 ・ 本人出席20名(議決権数:法人正会員 30個、個人正会員14個)  
・ 委任状720名(議決権数:法人正会員 975個、個人正会員 525個)  
・ 計740名(この議決権の総数 1,544個)  
\*定款第18条の定めに基づき、本総会は適法に成立。

6. 出席理事 森本 昌憲 上原 誠人 川島 保司 小池 鉄夫 渡辺 大介 佐藤 信也  
長野 広起 満野 順一郎 宮原 謙一 渡邊 一也 (以上 11名)

出席監事 杉岡 喜幸(以上1名)

## 7. 会長挨拶

本日はHRSの総会にご出席くださりまして有難うございます。常日頃よりHRSの活動、運営に対しまして温かいご支援ご協力を賜っておりますことに改めて御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症がまだまだ収まらない中、本日の総会運営にあたりまして安全対策には皆様と共に万全を期してまいりたいと思っておりますのでご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

本来なら5月開催予定の定時総会も、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が発出されるなどの影響で延期をして本日の開催となりました。また春に予定しておりました各種事業につきましても延期ないしは中止とせざるを得ない状況でその対応を検討してまいりました。

おかげさまで、厚労省指定試験機関として国家検定「レストランサービス技能検定試験」の学科試験につきましては当初の予定の日程通り実施し、ほぼ例年並みの受検者の応募があり多くの関係者のご協力のおかげで無事終えることができ胸をなでおろすと同時に、このような環境下にあっても多くの皆様が参加していただくなど、レストランサービス技能検定に高い期待と評価をいただいていることを実感するとともに、10月からの実技試験の実施に向けてより一層の安全安心な運営のための施策を徹底すべく準備を進めております。

ここで、従来より進めております当協会の事業活動につきまして、今回の新型コロナの経験を踏まえ強化すべきことを加えてご報告したいと思います。

第1に、会員の増強と会員相互の成長発展に寄与することは当協会として最優先に取り組む課題です。そのためにも技能検定試験をはじめ協会の各事業活動を拡充し実績を重ね、業界、社会でのHRSの認知度と評価を高めることが大切です。またレストランサービス技能士資格の社会的な認知度と価値を高めることを目指し、資格取得者が職場や社会のいろいろな場で活躍している姿や資格取得を目指す多くの学生が学ぶ受検承認校の紹介や関係者との意見交換会などにも力を入れていきます。また外国人の技能士試験の受検を促進すること、幅広く外食産業に従事する方々のサービス向上と資格取得のための協会としての認定試験などについても実施に向け検討を進めていきたいと思っております。

第2としては、急速に進む国際化そしてデジタル化への対応です。コロナ感染禍の中でリモート、オンラインでの仕事や打ち合わせがどんどん進み、働き方が大きく変わっていく中で、ホテル・レストランの運営やサービスにも変化が求められます。そのような業界や社会の変化に対応した事業活動を遅滞なく推進することに努めます。デジタル化に関しては、今回のレストランサービス技能検定試験からWEB申請のシステムを導入し、学校関係だけでなく一般の方々も多く利用していただいたことがコロナ感染の中でも事務手続きなど作業を安全かつスムーズに進められる結果となりました。今後は協会として実績を積んできたテーブルマナー講師認定事業、人材育成や各種実技講習のセミナーなどの運営においてもデジタル化を進め、集合研修に加えて各地域でより広く受講していただくことができるように新しいセミナーの開発も積極的に進めていきます。

第3は広報の充実と連携の強化です。まずは、会員の皆様のニーズに適應する情報提供に努めることを念頭に会報誌を会員相互の研究、自己啓発と共に意見・情報交換の「場」としたいと思いますので皆様の積極的な参加をお願いします。情報の提供についても、会報誌、ホームページの充実、メールマガジンの積極的活用などさまざまなツールの特性を生かし、よりタイムリーで分かりやすい情報発信に努めます。広く業界・社会にもHRSのいろいろな活動などを伝えるためマスメディアの活用も重要なことと考え機会あるごとに探っていききたいと思います。

そのためにも業界の関係団体との友好関係、連携を進め、業界としての組織力の発揮に寄与できるようにしたいと思います。毎年2月に開催される日本能率協会主催「ホテルレストランショー」のイベントステージで行う「サービスコンクール」は応募の制限をしなければいけないほど多くの競技参加者と応援、見学する方で会場が溢れる状態で盛り上がります。今後は2年ごとの「技能グランプリ」と合わせ業界の行事としての位置づけへと拡充し評価の定着を図っていくことが重要と考えています。コロナ感染禍で厳しい環境にあるホテル・パンケツ、レストラン業界の企業や団体の料飲サービス等に関するいろいろな工夫、研修などについても積極的に情報収集・交換、紹介に努めることでHRSの評価、認知度の向上、人材育成につながることを考え積極的に対応していきます。

このようなことを進めながら、協会として年々改善はしてきているものの、財務体質をさらに強固にし、組織力の強化に努めることが重要です。

そしてすべての活動を進める中において最も重要なことは、コンプライアンスの遵守であることを肝に銘じ徹底していくことです。

With コロナ、after コロナといわれる時代にあって、業界やそこで働く人たちの成長発展に寄与できますよう、新たな気持ちで活動を推進してまいりますので、もうすでに本年度も半分過ぎてしまいましたが皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願いして総会開催にあたっての挨拶といたします。

## 8. 総会成立宣言

事務局より、本総会の出席員数について報告し、出席委任状を含め総会成立要件を満たしている旨を報告し、本総会の成立が宣言された。

## 9. 議長選出

定款第16条の定めに基づき、議長には会長 森本昌憲が選任された。

議長より議事の進め方について、会員の発言は報告事項及び各議案の説明をした後に受け、その後に議案に関する採決を行う旨が説明され、議場に諮ったところ満場一致で可決した。

## 10. 議事録署名人選出

定款第19条2項の定めに基づき、会員の中より齊藤大樹氏、佐藤信也氏の2名が選任された。

## 11. 報告事項

議長より、従来の総会では「事業計画書案」及び「収支予算書案」は議案審議事項であったが、一般社団法人における定款第35条では理事会決議事項となっており、去る令和2年3月12日開催の理事会で承認決議されており、本総会では報告事項とする旨の説明があった。

(1) 令和2年度事業計画書報告の件

(2) 令和2年度収支予算書報告の件

報告事項(1)、(2)について渡辺専務理事より、議案書及び別紙概要書に基づき報告があった。

## 12. 議案

(1) 第1号議案 令和元年度事業報告書承認の件

第2号議案 令和元年度計算書類承認の件

第1号議案及び第2号議案について渡辺専務理事より、議案書に基づき説明があった。

(2) 第3号議案 令和元年度監事監査報告書承認の件

同議案について杉岡監事より、議案書に基づき説明があった。

(3) 第4号議案 理事退任に伴う補欠役員選任の件

同議案について議長より、現在の当協会の理事数は34名である旨が説明されたのちに、吉田正理事から本総会日付で辞任届が提出されたことに伴う補欠役員の選任が必要となる旨の説明があった。尚、新任理事の任期期間は定款第24条の定めに基づき、令和3年開催の定時総会終結までとする旨が説明された。

・ 理事候補者 一般社団法人日本能率協会 理事 産業振興センター ディレクター 小宮 太郎氏

### 【議案の採決】

まず、第1号議案「令和元年度事業報告書承認の件」について、議長が賛否を議場に諮ったところ、満場一致で可決した。

次に、第2号議案「令和元年度計算書類承認の件」について、議長が賛否を議場に諮ったところ、満場一致で可決した。

次に、第3号議案「令和元年度監事監査報告書承認の件」について、議長が賛否を議場に諮ったところ、満場一致で可決した。

次に、第4号議案「理事退任に伴う補欠役員選任の件」について、議長が賛否を議場に諮ったところ、候補者が賛同を得られ満場一致で可決した。

なお、被選任者は、席上その就任を承諾した。

以上を以って令和2年度定時総会は全ての審議が終了したので、午後5時00分閉会を宣言し解散した。

令和2年9月29日

一般社団法人 日本ホテル・レストランサービス技能協会